

お知らせ

タイ館 : タイの伝統工芸彫刻

2005年6月10日(金)から13日(月)まで、愛・地球博タイ館において、中村富士男氏による「ケツ・サラック(野菜や果物の彫刻)」が開催されます。



「ケツ・サラック(野菜や果物の彫刻)」のご紹介

「ケツ・サラック」とは野菜や果物などの彫刻という意味で、昔から伝わるタイの伝統的な工芸技術の一つです。彫刻した野菜や果物は出来上がった料理を引き立て、いっそうおいしく見せます。食事の時に来客が喜んでくれるように、野菜を一口大に切ったり、丁寧に掘り刻んだりし歓迎の意を表します。

材料は特に決まりはないですが、よく使われるのは、かぼちゃ・すいか・パパイア・なす・人参・大根・芋・ねぎなどです。それぞれの特徴に応じて工夫し加工され、どんな野菜や果物でも彫刻する事が出来ます。動物、人間、花、葉、伝統的な模様などの様々な形に変えられます。彫刻するには集中力はもとより、鋭いナイフと感性が必要不可欠となります。



野菜や果物の彫刻の実演者について



中村 富士男 氏

- ・ タイ式の野菜や果物の彫刻の経験が5年間あります。
- ・ シリキット女王会議場でのコンクール及びエメラルドホテルの彫刻大会で2度優勝
- ・ 現在、東京にて彫刻教室を開き「ケツ・サラック」を広めている。

「彫刻」パフォーマンススケジュール

6/10(金) 14.00-20.00

6/12(日) 10.00-20.00

6/11(土) 10.00-20.00

6/13(月) 10.00-15.00